

「ほそぎハート循環器」開設

昨年6月に開設された「ほそぎハート循環器」は、地域のニーズに応える医療を実現したいと語っている。副院長の細木信吾(中央)



血管チェック まずは受診を

心臓カテーテル検査の様子。血管の状態を画像でチェックしていく＝いずれも細木病院提供



シリーズ 地域医療を考える

——普段の生活で血管の健康まではあまり考えません。どんな人に注意が必要ですか？

◆糖尿病や高血圧、脂質異常症のある方は動脈硬化を起しやすいので、健康診断で要検査となった若くても受診をお勧めします。がんと同様に動脈硬化も遺伝的な要素があります。特にタバコを吸う人はリスクが高まりますので、症状が出る前に血管チェックを受けることが大事です。

◆検査に入院は必要ですか？ 痛いんですか？

◆まずは、外来で検査をして、異常があれば入院が必要な心臓カテーテル検査になります。外来では血液検査、心電図、レントゲン写真、エコー、CT、MRI、脈波検査をします。心臓カテーテル検査では、手の親指の付け根に局所麻酔をして、そこにある血管から直径1・3mmのカテーテルと呼ばれる細い管を入れて、ターゲットとなる血管に向かいます。カテーテルから造影剤を流して、血管の中の状態を調べ、カテーテル検査は道具や技術がとても進化しています。カテーテルを入れる付根からですが、時、手首、親指の付け根からも入れていくことができます。



細木信吾副院長に聞く

細木病院(高知市大膳町)

あなたの血管、健康ですか？ 高知市で地域に密着した診療を続ける細木病院(同市大膳町)では心臓を含めた循環器の総合医療を目指し、昨年6月、早期発見と治療、社会復帰までサポートする「ほそぎハート循環器」を開設した。心筋梗塞や大動脈解離など、心臓の病気は処置が遅れると命に関わる。細木病院では最新の機器を用いた検査と治療、手術後のリハビリが切れ目なく展開される。目指す医療の形について、同病院の細木信吾副院長に聞いた。【安部拓輝】

心臓・血管の検査、治療、リハビリを一元化



心臓のリハビリ前には、どの程度の運動が安全で有効かを調べるために心肺運動負荷試験を実施する

うになり、体への負担は格段に減っています。準備から終わるまでにかかる時間は約30分です。

——どんな異常をチェックするのでしょうか？

◆血管の壁が固くなるのが動脈硬化。進行すると骨のように硬くなります。硬くなった血管の膜が薄くなるとそこが破れ、血液の塊ができて血管が詰まります。それが脳で起こると脳梗塞、心臓で起こると心筋梗塞になるおそれがあります。心臓カテーテル検査では、血管の細さや性状、細さが胸の症状の原因になるかどうかをチェックします。検査の時に治療することもできますし、難しい治療であれば後日、2週間ほど手術用カテーテルで治療

——検査に入院は必要ですか？ 痛いんですか？

◆まずは、外来で検査をして、異常があれば入院が必要な心臓カテーテル検査になります。外来では血液検査、心電図、レントゲン写真、エコー、CT、MRI、脈波検査をします。心臓カテーテル検査では、手の親指の付け根に局所麻酔をして、そこにある血管から直径1・3mmのカテーテルと呼ばれる細い管を入れて、ターゲットとなる血管に向かいます。カテーテルから造影剤を流して、血管の中の状態を調べ、カテーテル検査は道具や技術がとても進化しています。カテーテルを入れる付根からですが、時、手首、親指の付け根からも入れていくことができます。

——検査に入院は必要ですか？ 痛いんですか？

◆まずは、外来で検査をして、異常があれば入院が必要な心臓カテーテル検査になります。外来では血液検査、心電図、レントゲン写真、エコー、CT、MRI、脈波検査をします。心臓カテーテル検査では、手の親指の付け根に局所麻酔をして、そこにある血管から直径1・3mmのカテーテルと呼ばれる細い管を入れて、ターゲットとなる血管に向かいます。カテーテルから造影剤を流して、血管の中の状態を調べ、カテーテル検査は道具や技術がとても進化しています。カテーテルを入れる付根からですが、時、手首、親指の付け根からも入れていくことができます。

胸の痛み・圧迫感・めまい・息切れ・足の痛みやむくみ

問い合わせは
細木病院
(088-822-7211)

こんな症状に注意



リハビリではレッドコードと呼ばれるストレッチも取り入れている

をします。

——血管や心臓は突然悪くなる印象がありますが、自覚症状はありますか？

◆歩いていると足に痛みやだるさが出て、じっとしていると治まるような時には、足の血管がつまりかけている可能性があります。喫煙や透析をしている人は足に症状が出やすいのも特徴です。骨や筋肉の状態を見ても分からない場合があります。注意が必要ですね。息苦しさも心不全の疑いがあります。胸が押さえつけられるような痛みがある時には緊急で処置が必要です。細木病院は24時間態勢です。おかしいと思ったら遠慮なく電話してください。

——治療の方法は？

◆まずは生活週面を見直し、服薬も取り入れて改善を図ります。それが難しい場合や、急ぎを要する時にはカテーテル治療(風船治療、

——検査に入院は必要ですか？ 痛いんですか？

◆まずは、外来で検査をして、異常があれば入院が必要な心臓カテーテル検査になります。外来では血液検査、心電図、レントゲン写真、エコー、CT、MRI、脈波検査をします。心臓カテーテル検査では、手の親指の付け根に局所麻酔をして、そこにある血管から直径1・3mmのカテーテルと呼ばれる細い管を入れて、ターゲットとなる血管に向かいます。カテーテルから造影剤を流して、血管の中の状態を調べ、カテーテル検査は道具や技術がとても進化しています。カテーテルを入れる付根からですが、時、手首、親指の付け根からも入れていくことができます。

——検査に入院は必要ですか？ 痛いんですか？

◆まずは、外来で検査をして、異常があれば入院が必要な心臓カテーテル検査になります。外来では血液検査、心電図、レントゲン写真、エコー、CT、MRI、脈波検査をします。心臓カテーテル検査では、手の親指の付け根に局所麻酔をして、そこにある血管から直径1・3mmのカテーテルと呼ばれる細い管を入れて、ターゲットとなる血管に向かいます。カテーテルから造影剤を流して、血管の中の状態を調べ、カテーテル検査は道具や技術がとても進化しています。カテーテルを入れる付根からですが、時、手首、親指の付け根からも入れていくことができます。